

令和3年度  
環境関連施策（プロジェクト関連事業）について

環境部環境政策課

目次
----

1	みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト	1
2	みんなで創る エコまち推進プロジェクト	2
3	みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト	4
4	みんなで進める MOTTAINAI プロジェクト	6
5	みんながつなぐ 環境「まなび」プロジェクト	8

## 1 みんなで輝く LED で光るまちプロジェクト

長寿命で省エネ性能に優れたLEDの特性を活かして、エコで快適なLEDで光るまちの実現を目指します。

また、「光」の名を有するまちとして、環境にやさしく明るいまちの象徴となるLEDの活用に積極的に取り組みます。

### (1) 省エネ生活普及促進事業【継続】 予算額 6,000 千円

(みんなで創る エコまち推進プロジェクトの省エネ設備補助金を含む)

家庭における省エネルギー化の促進を図ることで地球環境への負荷を低減し、併せて地域経済への波及効果を促すとともに、「光」の名を有するまちとして、環境にやさしく、明るいLED照明の導入に重点的に取り組むこととし、設備交換にかかる経費の一部を補助する。

#### 【補助の概要】

- ・対象基数：1基から
- ・補助基準額：購入価格の2/3（1基あたり上限：10,000円）
- ・補助上限額：50,000円

#### 【適用実績】

- ・平成28年度：116件
- ・平成29年度：158件
- ・平成30年度：126件
- ・令和元年度：97件
- ・令和2年度：126件
- ・令和3年度：41件（7月末現在）



## 2 みんなで創る エコまち推進プロジェクト

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出抑制に向け、市域全体での省エネルギー運動の展開、省エネルギー製品の導入など、市民、事業者、市が一丸となって、地球にやさしいまちの創造に取り組みます。

### (1) 省エネ生活普及促進事業【継続】 予算額 6,000 千円

(みんなで輝く LED で光るまちプロジェクトのLED照明設備補助金を含む)

家庭における省エネルギー化の促進を図ることで地球環境への負荷を低減し、併せて地域経済への波及効果を促すため、省エネ製品の設置にかかる経費の一部を補助する。

#### 【対象となる省エネ設備】

対象設備	補助額 (円)	要件
太陽熱利用システム	1/2 上限 30,000	既存家屋・市内業者
複層ガラス・二重サッシ	50,000 経費 100,000 以上が対象	既存家屋・市内業者

#### 【適用実績】

年度	太陽熱利用システム	複層ガラス・二重サッシ	合計
H28	1	13	14
H29	1	3	4
H30	2	19	21
R1	0	16	16
R2	1	15	16
R3	0	6	6

※R3は7月末現在の数値

### (2) 省エネルギー運動推進事業【継続、一部見直し】 予算額 130 千円

温室効果ガスの排出抑制や環境問題に対する意識の醸成などのエコライフを促進するため、光市地球温暖化対策地域協議会と協働で、市民に省資源、省エネルギーの一斉行動を呼びかける。

令和3年度も引き続き、各家庭における電気使用量等の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」を実施するとともに、市内に路線網を有するバス会社のご協力のもと、運賃を半額とする「市民一斉ノーマイカー運動推進キャ

ンペーン」の内容を一部見直し、月末金曜日に実施する予定。

※上記予算のほかに、光市地球温暖化対策地域協議会の経費を合わせて事業を実施

【市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーンの見直し内容】

変更項目	変更前	変更後
主な対象者	光市在住の個人	参加登録した市内事業所等のマイカー利用者 ※個人での登録も可
参加方法	市広報やチラシ掲載の半額券を運賃支払い時に利用	事前に利用者登録を行い運賃支払い時に登録証を提示

※新型コロナウイルス感染症対策として、キャンペーンの実施を見合わせている。実施時期については検討中。

(3) 電気自動車普及促進事業【継続】 予算額 913千円

地球温暖化防止に寄与する電気自動車の普及や中山間地域の活性化を目的に、平成26年9月から光市農業振興拠点施設「里の厨」に設置した電気自動車用急速充電器について、引き続き現状通りの運用を行う。

(4) (仮称) エコまる ライトダウンチャレンジ【新規】 予算額 0千円

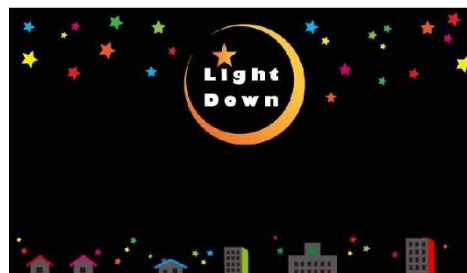
日常の取組みを地球温暖化防止に資する行動につながられるよう、取組みの提案と機会の提供、及び意識啓発を目的として、家庭や事業所等に一定時間のライトダウンを呼びかける。

【実施期間】

12月の1か月間

【内容】

- ・実施期間中、「1回(日)以上かつ合計1時間以上」のライトダウン(消灯)を実施する。
- ・実施した内容を、SNS等を活用して情報発信する。



### 3 みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト

「自然敬愛都市宣言」のまちとして、本市が誇る白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸、母なる島田川、緑豊かな石城山など、これまで先人より連綿と受け継がれてきた水や緑の豊かな資源を守り、次代へ受け継いでいく機運の醸成を図ります。

また、水や緑が私たちの生活にもたらす恩恵に感謝するとともに、人と自然が共生する快適環境づくりを進めるため、市民、事業者、市の連携と協働による環境の保全・再生、創造活動に取り組みます。

#### (1) 日本の森・滝・渚全国協議会関連事業【継続】 予算額 30千円

63団体が加入する「日本の森・滝・渚全国協議会」の活動を通じて、自然敬愛の精神を広く全国に発信するとともに、まちぐるみで、本市の自然環境の重要性や「自然との共生」のあり方を見つめ直す契機とする。

令和3年度は、協議会総会や自然敬愛サミットを富山県朝日町で開催予定。

※新型コロナウイルス感染症対策として、協議会総会や自然敬愛サミットの開催は中止した。

#### 【日本の森・滝・渚全国協議会の概要】

- 趣旨 資源の効果的な活用と地域相互の連携を通じて、地域の活性化や知名度向上に取り組むとともに、自然敬愛に基づき、郷土を愛する心を育み、心豊かな人づくり、自然と共生する潤いのあるふるさとづくり、国づくりを推進し、日本の豊かな自然を守り後世に伝える。
- 経緯 森林浴の森全国協議会、日本の滝全国協議会及び日本の渚全国協議会の統合により、平成19年に発足
- 会員 令和3年4月1日現在で63団体

#### (2) 「自然敬愛都市宣言」のまちPR事業【新規】 予算額 0千円

「自然敬愛都市宣言」のまちの認知度向上を目指し、「まなび」の場等を活用して宣言を紹介する時間を設けるなど、積極的にPRを行う機会を創出していく。

#### 【実施場所】

- ひかり環境未来塾
- エコスタイルセミナー
- 出前講座                      など

(3) 特定外来生物対策事業【継続】 予算額 589 千円

【アルゼンチンアリ】

令和2年度から地元協議会が行っている一斉防除の協働事業提案制度に則り、令和3年度も引き続き一斉防除を地元協議会と市の協働で取り組む。

なお、公共施設や市有地については、市の責任により実施し、生息域の拡大を防ぐとともに、引き続き、モニタリング調査を実施し、生息状況の実態を把握する。

また、地元協議会の代表らと先進地視察を行い、より効果的な防除について情報収集を行う。

#### 4 みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト

自然破壊や地球温暖化等の環境問題を引き起こしてきた大量生産・大量消費・大量廃棄型社会からの転換を図り、持続可能な循環型社会を構築するため、日本古来の「もったいない」という文化を継承し、廃棄物の発生抑制や再資源化の推進に取り組めます。

##### (1) 生ごみリサイクル促進事業【継続】 予算額 263 千円

家庭から排出される可燃ごみの約 60%を占める生ごみの減量化とリサイクルを推進するため、家庭用生ごみ処理機等購入費助成制度を継続する。

##### 【補助実績 (件)】

年 度	補助件数			合計
	電動生ごみ 処理機	コンポスト容器	段ボール コンポスト	
平成 28 年度	9	8	3 4	5 1
平成 29 年度	7	8	2 8	4 3
平成 30 年度	7	1 0	2 9	4 6
令和元年度	6	1 0	4	2 0
令和 2 年度	1 1	1 5	3	2 9

##### (2) リサイクル推進事業【継続】 予算額 1,525 千円

再資源化可能であるにもかかわらず、多くが焼却処分されている「紙類」や、「繊維類」「金属類」「瓶類」の再資源化を促すために、資源回収団体に交付する奨励金を継続して交付し、再資源化の促進と可燃ごみの減量化につなげる。

##### (3) ごみダイエット促進キャンペーン【継続】 予算額 208 千円

ごみの減量化やリサイクル促進をテーマに、育児用品や子ども用品に特化したリユース事業など不用品交換システムの充実を図るとともに、イベント等を活用した啓発活動を推進する。

また、世代に応じた環境学習として、中学生や小学 4 年生、保育園児・幼稚園児を対象とした体験型の環境学習をはじめ、自治会や各種団体などを対象とした出前講座や廃棄物処理施設を巡るツアーなどを継続的に実施する。



【リユースネット利用実績】

●譲ります

	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	リユース ネット	リユース キッズ	リユース ネット	リユース キッズ	リユース ネット	リユース キッズ	リユース ネット	リユース キッズ
登 録	73 件	136 件	87 件	162 件	55 件	162 件	58 件	141 件
成 立	52 件	122 件	56 件	133 件	16 件	130 件	29 件	131 件
成立率	71.2%	89.7%	64.4%	82.1%	29.1%	80.2%	50.0%	92.9%

●譲ってください

	平成 29 年度 (リユースネット)	平成 30 年度 (リユースネット)	令和元年度 (リユースネット)	令和 2 年度 (リユースネット)
登 録	77 件	74 件	55 件	46 件
成 立	29 件	25 件	20 件	16 件
成立率	37.7%	33.8%	36.4%	34.8%

【環境学習参加者数】

	実施校・団体	参加人数
中学校	0 校 (0 回)	0 人
小学校	11 校	415 人
幼稚園・保育園	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
出前講座	1 団体 (1 回)	60 人

【ごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアー参加者数】

	実施回数	参加人数
平成 29 年度	15 回	257 人
平成 30 年度	12 回	198 人
令和元年度	13 回	275 人
令和 2 年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

(4) ごみ分別アプリ事業【継続】 予算額 264 千円

市民がより分かりやすく手軽にごみ分別ができるように、スマートフォンやタブレットを利用して、ごみ出し日と分別方法が容易に確認できるアプリケーションを提供し、一般家庭から排出されるごみの適正な分別を推進する。

## 5 みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト

次代を担う子どもたちの環境保全意識を醸成し、主体的な活動を促進するため、これまでに私たちが引き起こしてきた地球温暖化問題や生物多様性の危機、ごみ問題など、地球規模から身近な課題までを、学び、考え、行動につなげる環境教育に取り組めます。

また、幅広い世代の人が学べる講座や体験学習会等を開催し、環境への配慮に対する意識の向上を図るとともに、環境教育を担う人材育成につなげます。

### (1) 環境「まなび」推進事業【継続】 予算額 201千円

地球温暖化をはじめとする多様な環境問題が深刻化する中、市民一人ひとりが身近なこととして捉え、正しく認識するとともに、解決に向けて自らが考え、取り組んでいく機運の醸成を図るため、幅広い世代を対象とした環境教育を実施する。

#### 【小学生向け】

「ひかりエコくらぶ」を継続実施し、市内の様々なフィールドを活用した自然体験学習会を開催する。

- ・対象者：市内小学校に通う1年生～3年生の児童
- ・募集人数：25人
- ・実施回数：3回（夏、秋、冬を予定）

※新型コロナウイルス感染症対策として、夏の実施は中止。

#### 【中学生向け】

「ひかり環境未来塾」を継続実施し、市内全中学校を対象に、学校の指導だけでは知り得ない企業や個人の環境に配慮した取組みについて、出前授業形式で現場の生の声を聞く機会を創出する。

- ・学習メニュー及び講師

	学習メニュー	講師
継続	光市の企業の環境に配慮した取組み	武田薬品工業株式会社
継続	水素エネルギー社会の実現	株式会社トクヤマ
継続	電気エネルギーと私たちの暮らし	中国電力株式会社周南営業所
継続	知ってみよう！明るい社会を創造するLED照明	田村哲志氏（パナソニック株）
継続	地球温暖化と異常気象のつながり	坂本京子氏（気象予報士）

- ・7月末現在、2校（大和中学校、浅江中学校）で実施済。

【一般向け（高校生以上）】

市民夏季大学を活用し、地球温暖化や生物多様性の保全といった喫緊の環境問題について講演会を実施することで、一人ひとりが解決しようとする意識の醸成を図る。

●講師 加藤 英明 氏（生態学者）

爬虫類ハンターとして、テレビ出演や講演活動を行っており、自らの体験を通して、外来生物の問題や生物多様性の保全といった環境保護等について講演



・7月9日実施済。

(2) 環境学習推進事業【継続】 予算額 83 千円

子どもたちに自然とふれあう機会を提供し、自然を大切にする心を育むため、小学校の総合学習の時間等に講師を派遣し、自然環境や温暖化に関する学習を支援する。

・7月末現在、2校（室積小学校、三井小学校）で実施済。

(3) エコスタイルセミナー【継続】 予算額 10 千円

講演会や見学会を通して、環境問題に関する知識や理解を深める場を提供するため、光市温暖化対策地域協議会と協働で、市民を対象としたセミナーを開催する。

※新型コロナウイルス感染症対策として、第1回講演会の実施を延期。今後の実施時期については検討中。

(4) ごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアー【継続】 予算額 70 千円

環境問題に関心を持つ市内の団体等を対象に、ごみ処理施設や再生可能エネルギー施設の多様な環境関連施設の見学機会を提供し、資源循環や低炭素など環境問題を複合的な視点から考察できるツアーを開催する。

※新型コロナウイルス感染症対策として、ツアーの実施を見合わせている。実施時期については検討中。